

文化生涯学習課

1 文化振興事業

予算科目(款・項・目) 10・35・05 [決算書135ページ]

市民に芸術・文化に触れる機会を提供するため、様々な文化振興事業を実施するもの

(1) 彫刻のある街づくり事業

多摩川桜堤通りに設置している10体の彫刻作品の維持管理を行った。

作品名及び作者は、次のとおり

ア	「H a r m o n y」(ステンレススチール製)	松本 憲宜
イ	「生命の樹と授かりものたち」(ブロンズ製)	松本 雄治
ウ	「花の柱」(本小松石製)	平山 隆也
エ	「リバイアサン」(ブロンズ, 河原石製)	天野 裕夫
オ	「風のフォルム」(赤みかげ石製)	須藤 博志
カ	「童の夢」(黒みかげ石, 白みかげ石製)	宮澤 光造
キ	「プリアテル」(ブロンズ製)	前田 忠一
ク	「大地の使者」(黒みかげ石製)	鈴木 武右衛門
ケ	「N y m p h」(黒みかげ石, 桜みかげ石製)	平井 一嘉
コ	「町村制100周年記念碑」(ブロンズ製)	作者不詳

(2) 姉妹都市等交流事業

調布市の姉妹都市である長野県木島平村と、市民と村民との相互理解と交流を図るため、文化活動を中心とする交流事業を実施した。

ア 姉妹都市交流事業

(ア) 姉妹都市木島平村体験バスツアー

市民に姉妹都市木島平村の魅力を知っていただき、市民と村民との交流を深めるため、木島平村へのバスツアー事業を3回実施した。

事業名	実施月日	参加者数(人)	事業概要
初夏の体験事業「初夏の木島平でホテル観賞とさくらんぼ狩りの旅」	6月29・30日	24	郷の家での昼食, 内山手すき和紙を使用した時計・テーブルライト作り, さくらんぼ狩り等の体験を行った。
秋の体験事業「秋の木島平でダリア鑑賞・マレットゴルフ・ぶどう狩りの旅」	9月14・15日	18	やまびこの丘公園でのダリア園見学, ソラテラス観光, 村民とのマレットゴルフ交流, ぶどう狩り等の体験を行った。
晩秋の体験事業「晩秋の木島平で囲碁やりんご狩りを楽しむ旅」	11月23・24日	25	両市村の愛好者による囲碁交流, ノルディックウォーキング, りんご狩り, そば打ち体験等を通して村民との交流を図った。
※冬の体験事業「家族	3月20日~22	-	家族で木島平スキー場を楽し

で木島平！スキー・スノーボードツアー（2泊3日・リフト券付き）」	日	んでもらうため、リフト券付きのフリープラン、宝さがし大会等の体験を行う。
----------------------------------	---	--------------------------------------

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(イ) 調布・木島平交流クラブバスツアー

調布・木島平交流クラブとの共催により、木島平村へのバスツアーを3回実施した。

事業名	実施月日	参加者数(人)	事業概要
お田植え体験・アスパラ狩り体験事業	5月25・26日	35	田植え体験，アスパラ狩り体験等を行った。
稲刈り体験事業	9月28・29日	33	やまびこの丘公園散策，稲刈り体験，きのこ工場見学，安曇野大王わさび農場見学等を行った。
りんご狩り体験事業	11月16・17日	47	マンズ小諸ワイナリー・万酔園見学，無言館見学，りんご狩り等を行った。

(ウ) 姉妹都市交流イベント

事業名	実施月日	参加者数(人)	事業概要
※木島平Day（木島平い～なか交流フェスタin調布）	10月13日	-	調布スクラムフェスティバルVol.6内で、木島平村のPRとして、特産品販売等を行う。

※ 台風19号により中止

イ 姉妹都市交流事業助成

木島平村との文化，スポーツ，教育等を通じた交流事業を行う各種団体に対し事業費を助成した。

助成団体数 2団体

ウ 姉妹都市宿泊費助成事業

市内在住・在勤・在学者等が，木島平村内の指定された宿泊施設に宿泊する際の宿泊費を助成した。

延べ利用泊数 4,084泊（うち，中学生2,621泊，65歳以上349泊，その他1,114泊）

(3) 平和祈念事業

調布市国際交流平和都市宣言及び調布市非核平和都市宣言の理念に基づき，戦争が生み出した悲劇が風化することのないよう，幅広い視点から多くの事業を実施した。

ア 広島平和派遣

次世代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し，戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて，戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け，その成果を広く市民へ還元することを目的に，市内在住・在学の中学生を市民の代表“ピースメッセンジャー”として広島市へ派遣した。派遣前に2回の事前学習会を実施し，派遣後は各種平和祈念事

業等での発表及び市民との意見交換や、青少年ステーションCAPSでの報告会、市特別職への報告会を行った。

なお、北部公民館において報告会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止とした。

また、ピースメッセンジャーの作成したメッセージボードの市内巡回展示（郷土博物館、文化会館たづくり11階みんなの広場、文化会館たづくり1階ロビー、市民活動支援センター、北部公民館）を実施した。

なお、新型コロナウイルスの影響に伴い、巡回展示のうち、令和2年3月4日から同月29日まで予定していた東部公民館及び西部公民館での展示を中止とした。

派遣実施日 令和元年7月29日から同月31日まで

参加者数 12人

イ 折り鶴プロジェクト

平和の尊さと命の大切さを考える機会とするため、市民から折り鶴を募集した。つづいた折り鶴の一部は、広島平和派遣中にピースメッセンジャーが原爆の子の像へ献納し、その他の鶴は広島市へ郵送にて献納した。

実施期間 平成31年4月19日から令和元年7月3日まで

会場 市内中学校、市内各施設、イベント等

献納数 約22,080羽

ウ 原爆展

長崎市から借用した被爆資料及び写真パネルのほか、市の平和に関する取組について展示した。

また、被爆体験者による講話や「調布市戦争体験映像記録 平成30年度」の上映を行った。

開催日 令和元年8月1日から同月8日まで

会場 文化会館たづくり

来場者数 761人

エ 戦争体験映像等記録DVDの作製・配布

市内の戦争体験者に自身の体験を語っていただくインタビュー映像を収録したDVDを作製し、図書館、市内小中学校等に配布した。

なお、広島に派遣したピースメッセンジャーがインタビュアーを務めるとともに、DVDには広島平和派遣報告会の様子をあわせて収録した。

作製枚数 60枚

オ 平和事業連絡会

平和祈念事業を実施している関係各課（館）の担当者が、所管する事業について情報共有を行うとともに、事業間の連携や平和施策全体の効果的な展開に向けた協議を行った。

開催回数 2回

カ 平和祈念情報誌「ピース・レターちょうふ」の発行

夏の平和事業の紹介及び平和に関する情報を発信するため、「ピース・レターちょうふ」を発行し、市立小・中学校の児童・生徒に配布するとともに、公共施設に配架した。

また、夏の平和事業への参加を促すため、スタンプラリーを実施した。

発行 令和元年7月

発行部数 17,000部

キ 国際交流平和都市宣言30周年に関する取組

平成2年に「調布市国際交流平和都市宣言」を発してから30周年の節目であることから、グリーンホール壁面に設置していた「非核平和都市宣言」及び「国際交流平和都市宣言」のパネルをリニューアルし、宣言の普及啓発を図った。

ク その他の平和祈念事業

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業概要
子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2019	7月5日～ 11月11日 ※市募集期間		2	市内在住の子どもを対象として“平和なまち”をテーマとする絵画を募集し、平和首長会議に提出した。
調布サマーフェスティバル2019	7月24日	東京オーヴァル京王閣		会場内でピースメッセンジャーが作成したメッセージボード等の展示やピース・レターちょうふの配付を行った。
防災行政無線による黙とうの呼びかけ	8月6日、9日、15日、3月10日			広島、長崎への原爆投下により犠牲者となった方々、東京大空襲で犠牲者となった方々のご冥福を祈るとともに、世界の恒久平和の実現を祈念するため、防災行政無線による黙とうの呼びかけを行った。呼びかけはピースメッセンジャーの声を収録し放送した。
神田さち子ひとり芝居「帰ってきたおばあさん」公演	8月12日	文化会館 たづくり	400	市民団体との共催で、市内在住の女優神田さち子による「中国残留婦人」をテーマとした一人芝居を公演した。 会場内で、ピースメッセンジャーの作成したメッセージボード等を展示したほか、ピースメッセンジャー自ら、来場者への活動報告を行った。
平和バス見学会 親子で学ぶ平和「浅川地下壕と八王子の戦争遺跡めぐり」	8月17日	浅川地下壕ほか八王子市内	18	西部公民館との共催で、浅川地下壕を中心に、八王子の戦争遺跡を親子で巡る見学会を実施した。
劇団芸優座「昇らぬ朝日のあるものを～幻のオリンピック」	8月21日	グリーンホール	328	会場内で、ピースメッセンジャーの作成したメッセージボード等を展示したほか、ピースメッセンジャー自ら、来場者への活

				動報告を行った。
調布スクラムフェスティバル Vol.6	11月1・2日	調布駅前 広場		会場内に平和祈念ブースを設置し、ピースメッセンジャーが作成したメッセージボード等を展示した。また、ピースメッセンジャーも参加し、来場者への活動報告や、平和への想いを込めた折り鶴を折っていただく声かけをした。

(4) オリンピック・パラリンピック関連事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、多文化共生や多様な芸術文化への理解促進のため、サウジアラビア留学生との文化を中心とした交流や、展示・講演会を実施したほか、市内福祉団体と連携したパラアート展、オリンピックをテーマにした観劇事業などを実施した。

ア 「アラビア語講座」2019

実施年月日 令和元年7月24日、25日、29日、31日、8月1日

会場 文化会館たづくり

参加者数 フリークラス66人、単独講座67人（延べ）

事業内容 アラブ イスラーム学院の講師による講座を実施した。アラビア語の語学講座を通してアラビア文化の理解と共に、多様な文化に触れる機会を提供した。

イ サウジアラビア文化展～サウジアラビア王国をより知るために～

実施年月日 令和2年1月30日から同年2月3日まで

講演会・調理体験実施年月日 令和2年2月2日

会場 文化会館たづくり

来場者数 展示783人、調理体験15人、講演会112人

事業内容 サウジアラビアの伝統的な民芸品、テント及び写真の展示のほか、留学生の協力を得てアラビックコーヒーの試飲提供やヘナタトゥー体験などを行い、サウジアラビアの魅力発信や市民との交流の機会づくりを行った。

また、展示開催期間中に、サウジアラビアからの留学生による講演会及びサウジアラビア家庭料理の調理体験と振る舞いを行った。

また、ラグビーワールドカップ2019開催期間中に実施した「調布スクラムフェスティバルVol.6」において、各種展示や留学生と来場者との交流などを行った。

ウ パラアート展2019 CHOFU - f u f u～楽園～

実施年月日 令和元年12月4日から同月11日まで

会場 文化会館たづくり ほか市内福祉事業所等

来場者数 1,063人

共催 調布市福祉作業所等連絡会、調布美術研究所

事業内容 障害者のスポーツのみならず、芸術文化の発展につなげるため、市内の福祉事業所等で活動する方々のアート作品の展示を行った。洋服の縫製サンプル「トワル」を活用した作品や各事業所等から出展された作品のほか、7月に開催した「調布サマーフェスティバル2019」内で実施したワークショップで

の合同制作作品を展示した。そのほか、障害理解の促進につなげるため、会場内において市内福祉作業所でアート作品を制作する様子を収めたドキュメンタリー映像や福祉事業所の紹介映像を上映したほか、12月に開催した「福祉まつり」において一部作品の展示を行った。

エ 「パラハートちょうふ」の取組

令和2年を「パラリンピックを契機として共生社会の重要性を発信していく1年」と位置付け、様々な分野にわたる取組を展開していくため、市のキャッチフレーズとして「パラハートちょうふ2020 つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち」を定めた。このキャッチフレーズを広く活用していくためロゴを作成した。

また、本取組をより印象的にわかりやすく一体感を持って展開していくために、パラアート展関連ワークショップにおいて制作したアートデザインと併せて市民へ活用を呼び掛けた。

オ 劇団芸優座「昇らぬ朝日のあるものを〜幻のオリンピック」観劇事業

実施年月日 令和元年8月21日

会場 グリーンホール

来場者数 328人

事業内容 東京2020大会に向け、主に中学生・高校生を対象として、観劇活動を通じた機運醸成を図ることを目的に、調布市を拠点として全国的に巡演活動を展開しながら青少年向けの演劇を行う劇団芸優座の公演を開催した。

カ 「調布サマーフェスティバル2019」での関連施策PR

実施年月日 令和元年7月24日

会場 東京オーヴァル京王閣

事業内容 東京2020大会の開催1年前に実施した機運醸成イベントにおいて、市の平和祈念の取組やホストタウンであるサウジアラビアに関する展示を行ったほか、福祉事業所メンバーと来場者が一緒にアート制作を体験できるパラアート展関連ワークショップを実施した。

また、調布市文化協会の協力の下、「東京五輪音頭—2020—」盆踊りを行った。

(5) 文化・芸術団体事業助成

ア 深大寺短編恋愛小説

令和元年度は事業開始15周年の節目として、深大寺界隈の豊かな自然や花と緑を盛り込んだラブストーリーを募集し、入賞作品6編のほか、最終審査委員の村松友視、井上荒野、江國香織、角田光代、今村翔吾の5人が執筆した作品を含めて、計11編を掲載した深大寺恋物語第15集（15周年特別記念号）を発行した。

イ 調布市文化協会との連携

事業名	実施月日	会場	事業概要
伊豆市文化協会との研修交流	5月19・20日	伊豆市役所、修善寺生き生きプラザほか	東京2020大会に向けた取組等、情報共有を図った。
東京五輪音頭-2020-地域練習会	7月1日、4日、11・12日、17・18日	文化会館たづくり、深大寺地域福祉センター、富士見地域福祉セ	東京2020大会の機運醸成を目的に市民を対象とした「東京五輪音頭-

		ンター，染地地域福祉センター，入間地域福祉センター	2020-」練習会を開催した。
調布サマーフェスティバル2019	7月24日	東京オーヴァル京王閣	地域練習会の成果発表の場として「東京五輪音頭-2020-」を披露した。
第35回木島平村夏祭り	8月10日	ケヤキの森中央グランド	姉妹都市の長野県木島平村の夏祭りに参加した。
調布スクラムフェスティバル Vol.6	9月22日，29日	調布駅前広場	うちわを使った書道体験，生け花体験，フェルトを使ったストラップ作成を実施した。
第64調布市民文化祭	10月17日～11月17日	文化会館たづくり，グリーンホール，市役所前庭	市民の文化活動の発表の場として，実行委員会を組織し，市民文化祭を開催した。
東京五輪音頭-2020-調布バージョンの作成			東京五輪音頭-2020-調布バージョンの動画を作成し，踊りの普及に取り組んだ。

2 国際交流事業

予算科目(款・項・目) 10・35・05 [決算書135ページ]

地域の国際化を高め，市民の創意と活力を生かしながら，市民を中心とした草の根の国際交流を進める調布市国際交流協会に対し補助金を交付し，支援を行うとともに，市民団体との共催などによる国際理解事業を行うもの

(1) 小学生英語体験事業「調布でおもてなし～夏休み・小学生編～」

実施年月日 令和元年7月29日から同月31日まで

会場 文化会館たづくり，武蔵野の森総合スポーツプラザ

参加者数 29人

事業内容 東京2020大会に向けた取組として，平成28年度から開始した小学生英語体験事業について，令和元年度は調布市国際交流協会に業務委託を行い，市内の競技会場までの道のりを講師と共に実際に歩いて道案内を学ぶなど，大会に向けてより実践的な内容として実施した。さらに，学習成果を生かした実践演習の場として，ラグビーワールドカップ2019開催期間中に来訪した外国人に対して街頭インタビューを行った。

(2) 国際交流協会

ア 共催事業

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業内容
トンガと日本	4月13日	文化会館たづくり	186	トンガと日本の交流やラグビーについての講演会を実施した。

外国人留学生と楽しく交流～English他～	前期5月14日～8月6日 後期10月1日～12月17日	文化会館 たづくり	40	東京2020大会におけるおもてなしの充実を図るため、留学生やCIFA会員講師による挨拶や道案内などを中心とした内容で、相互に交流を深めた。
国際理解講座2019	9月21日	文化会館 たづくり	103	二胡奏者である霍曉君氏を迎えて、中国伝統楽器の紹介や世界各国の演奏会を通じた国際交流について、演奏を交えた講演会を実施した。
交流事業（バスツアー）	11月9日	川崎生田緑地、レインボーブリッジ ほか	34	会員同士の交流を深めるため川崎生田緑地や緑地内のプラネタリウム、岡本太郎美術館を訪ね、日本の芸術などを鑑賞した。

イ 「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座の実施

東京都、国際交流協会との共催により、外国人が安心して過ごせる環境を整えるため、「外国人おもてなし語学ボランティア」を育成する講座を実施した。

(ア) セットコース

内容 外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や外国人に対する「おもてなし」の心を身に付けるため、異文化コミュニケーションについて学習する全1回の「おもてなし講座」と、中学校で学習する程度の語彙・表現を用いて、道案内等に必要の定型文等を学習する全4回の「語学講座」を含むセットコースを開催した。

受講者（登録者） 54人

開催日

おもてなし講座	語学講座			
	第1回	第2回	第3回	第4回
7月3日	7月4日	7月5日	7月9日	7月10日
2月4日	2月5日		2月6日	

(イ) おもてなしコース

内容 一定程度の語学力を持つ方を対象とし、全1回の「おもてなし講座」のみを学習するおもてなしコースを開催した。

受講者（登録者） 61人

開催日

おもてなし講座	6月15日	2月15日
---------	-------	-------

ウ 調布でおもてなし講座

2019年、2020年と2年続く世界的なスポーツ大会の開催を控え、来日する外国人を調布の地で「おもてなし」できるよう、若い世代（中高生）が実践の場で使える英語を学び外国人と交流する講座、さらに一般市民が母語である日本語による「おもてなし」を目指した、「やさしい日本語」の講演とともにワークショップで実践する講座を開催した。

(ア) 調布でおもてなし～夏休み・中高生編～

実施年月日 令和元年8月22日

会場 文化会館たづくり

参加者数 中学生11人, 高校生8人, 外国人サポートゲスト4人

事業内容 調布市に在住又は在学の中高生たちが, 実践的な英語やおもてなしの心について学習したうえで, 外国人サポートゲストを迎えて交流し, 生きた英語に触れられる機会を提供した。

(イ) 調布でおもてなし講座～「やさしい日本語」の今とこれから

実施年月日 令和2年2月14日

会場 文化会館たづくり

参加者数 68人

事業内容 「やさしい日本語」についての講演とワークショップにより, 「おもてなし」から国際交流や多文化共生につながるプログラムを提供した。

エ 調布スクラムフェスティバルV o 1. 6への参加

ラグビーワールドカップ2019開催期間中に, 調布駅前で開催したスクラムフェスティバルにおいて, 国際交流協会のPRブースを設け, 外国人向けのパンフレット等の展示, 配布を行うとともに, 「調布でおもてなし講座」等に参加した小中高生による外国人への英語インタビューを行った。

実施年月日 令和元年9月28日, 10月19・20日, 11月2日

会場 調布駅前広場 ラグビーワールドカップ2019ファンゾーン in 東京

参加者 小学生延べ48人, 中高生延べ16人

協力者 延べ29人 (CIFA会員, 一般市民, 調布市おもてなしボランティア)

インタビュー 延べ約500人, 25か国 (4日間)

(3) アラブ イスラーム学院訪問

平成30年6月に相互友好協力協定を締結したアラブ イスラーム学院について, 市内の小中学生が訪問し, サウジアラビアの文化体験を通じて語学を学び交流を行う取組を市民団体との共催により実施した。

実施年月日 令和元年7月20日

参加者数 55人

3 消費生活対策事業 予算科目(款・項・目) 10・35・10 [決算書137ページ]

(1) 消費生活相談

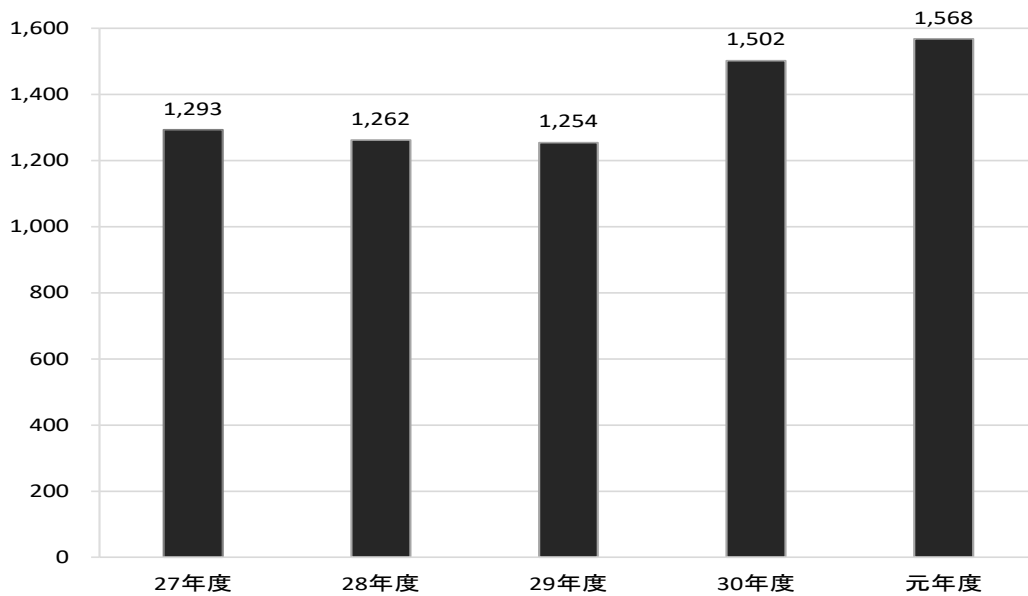
市民が消費者トラブルに巻き込まれたときに迅速に対応できるよう消費生活センターを設置し, 専門の消費生活相談員が, 来所, 電話による相談を受け付けるもの

なお, 消費生活相談員は, 相談業務のほか, 消費者トラブルの未然防止のため市報及びホームページでのコラム執筆, J:COMへの出演等による消費者啓発事業にも携わった。

相談員体制 月曜日～金曜日3人, 第2土曜日午前中2人

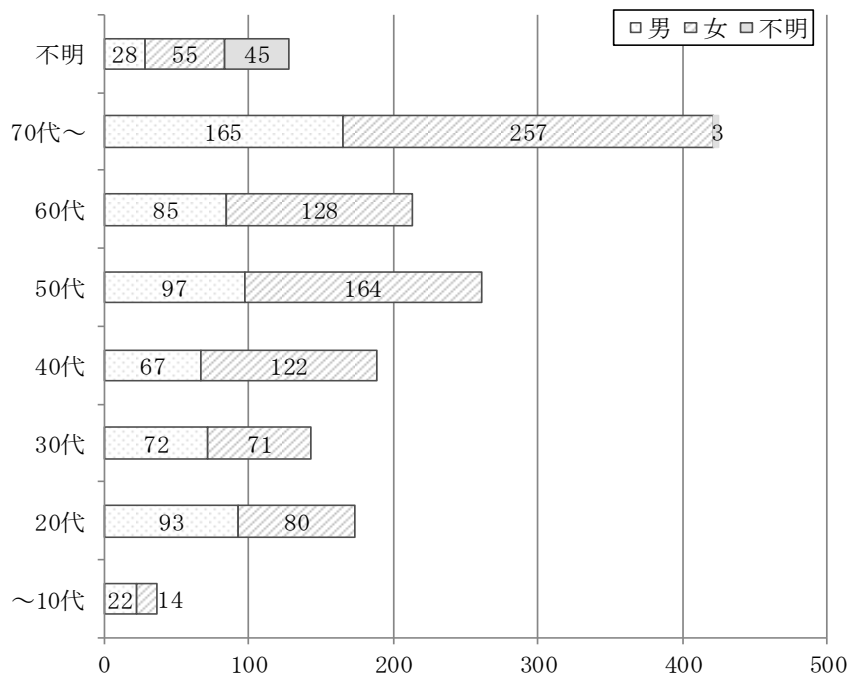
ア 年間相談件数の推移

(件)



イ 男女別及び年代別件数

(件)



ウ 処理結果別相談内訳

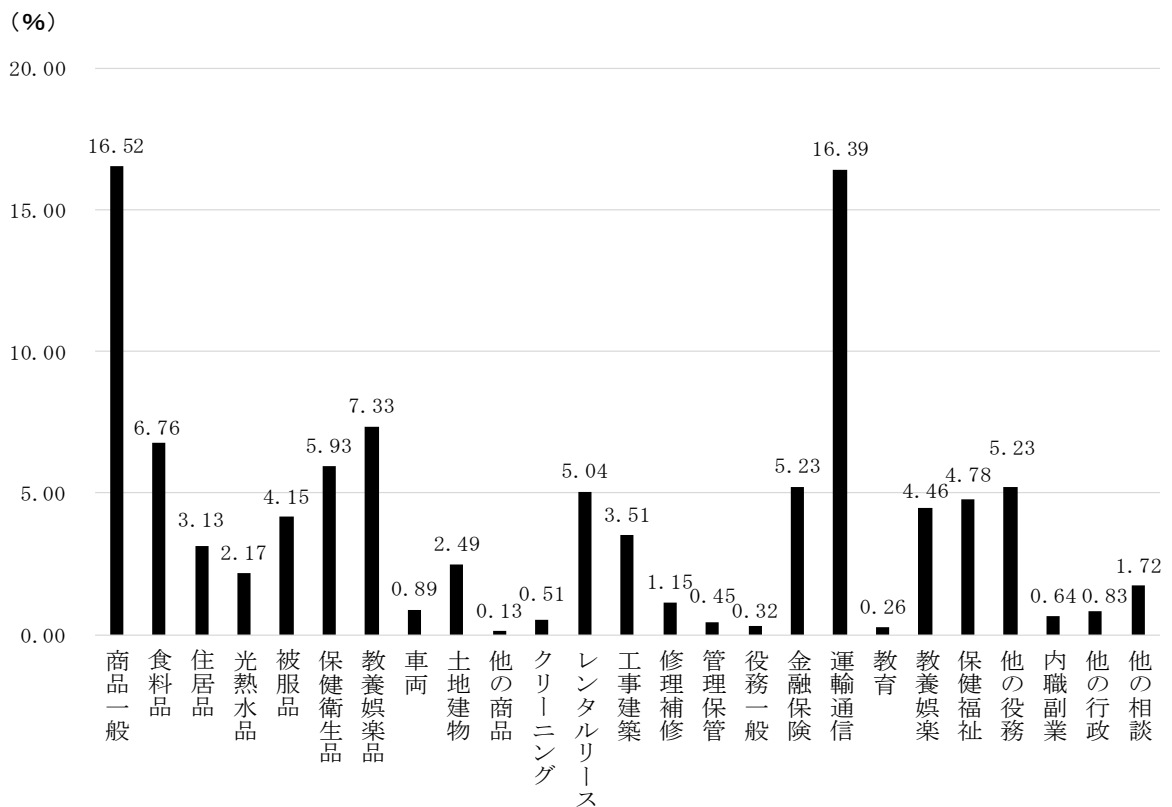
種類	件数 (件)	割合 (%)
他機関紹介	33	2.10
助言 (自主交渉)	1,260	80.36
その他情報提供	42	2.68
あっせん解決	171	10.91
あっせん不調	21	1.34
処理不能	10	0.64
処理不要	22	1.40
継続	9	0.57
合計	1,568	100.00

※ 「他機関紹介」とは、センターでは、あっせん・アドバイス等一切の処理をせず他機

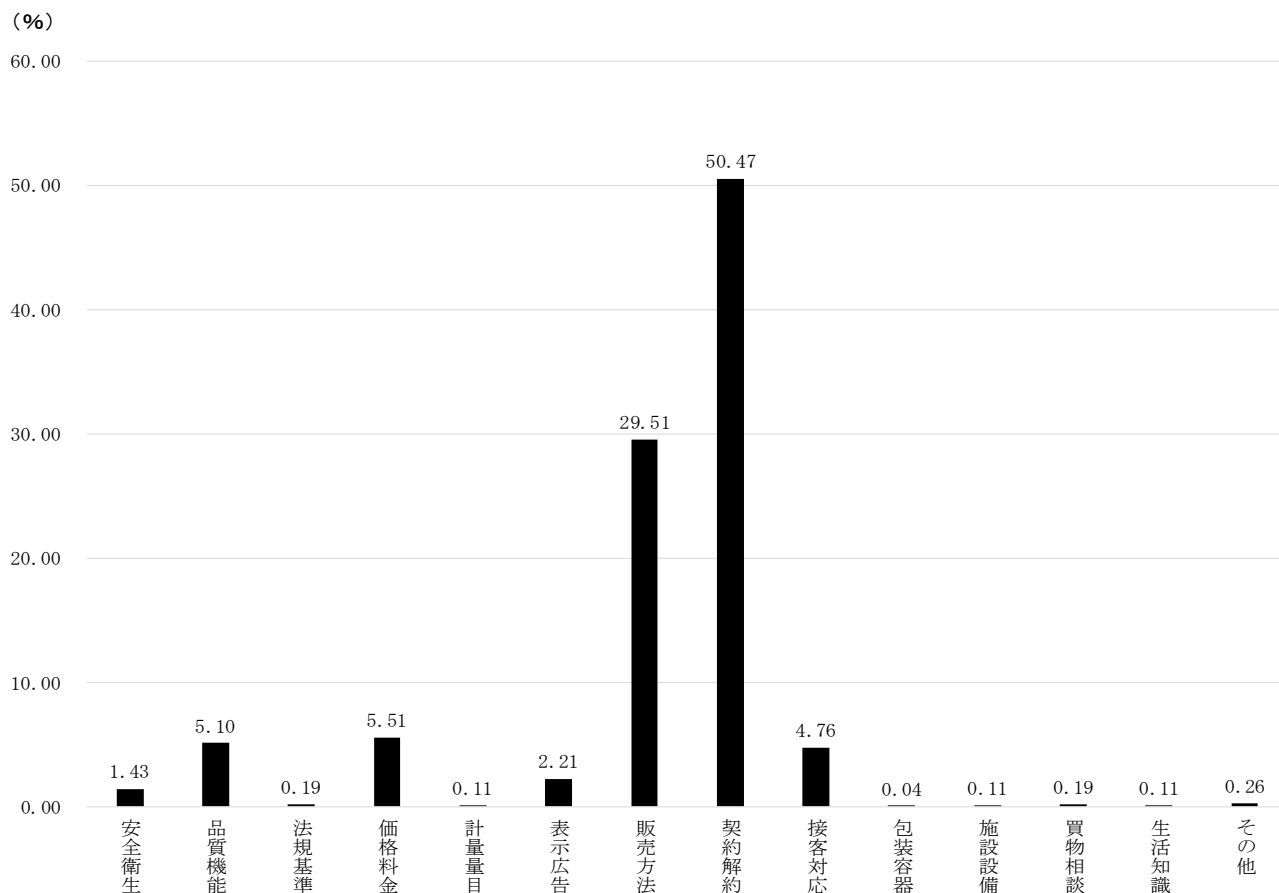
関を紹介したもの

- ※ 「助言（自主交渉）」とは、相談員のアドバイス等により、相談者が事業者自ら交渉することで解決したもの
- ※ 「その他情報提供」とは、あっせん以外の処理で、助言（自主交渉）に該当しない回答をしたもの
- ※ 「あっせん解決」とは、相談員が相談者と事業者の間に入ることで、解決がみられたもの
- ※ 「あっせん不調」とは、相談員があっせんを試みたが、相談者と事業者との間で折り合いがつかず、解決をみなかったもの
- ※ 「処理不能」とは、何らかの物理的理由で処理できなかったもの（相談者に連絡が取れなかった等）
- ※ 「処理不要」とは、相談者が単にセンターに情報を提供しただけであり、処理を望んでいないもの
- ※ 「継続」とは、引き続き相談を行っているもの

エ 商品別相談内訳



オ 内容別相談内訳（複数回答）



(2) 消費者教育事業

消費者教育の推進に関する法律を踏まえた各種事業を通して、多くの市民が消費生活に関する様々な知識を習得し、自主的な行動ができ、健全な消費生活を営むことができるように支援するもの

ア 夏休み親子消費者講座（開催2回，56人）

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業目的	講師名
親子消費者講座「LEDランプ工作」	7月26日	文化会館 たづくり	38	親子で、住まいのランプの種類や仕組みを通じて、エコや省エネを学ぶ。	パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社
夏休み親子消費者スクール「ジュースなどの糖分や食べ物の色について自分で調べてみよう」	8月21日	文化会館 たづくり	18	消費者活動団体と協働での講座開催することで、市民へ広く消費者教育の推進を図る。	調布市消費者団体連合会

イ 消費者講座（開催6回，中止2回，127人）

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業目的	講師名
-----	------	----	---------	------	-----

消費者講座「今日からできる簡単ホームファイリング」	10月9日	文化会館たづくり	27	日々増える書類の整理を学び、快適な生活を目指す。	整理収納アドバイザー 小宮 真理
東京都・調布市共催講座 「終活～はじめの一步～エンディングノートの始め方」	11月13日	文化会館たづくり	14	終活全般（医療・住まい・葬儀・お墓等）の知識及びエンディングノートの書き方を学ぶ。	トラベシア 石崎 公子
シニア講座「いつまでも元気で美しく！」	11月27日	文化会館たづくり	17	消費者活動団体と協働での講座開催することで、市民へ広く消費者教育の推進を図る。	調布市消費者団体連合会
消費者講座「今からはじめる老後に苦労しない整理収納術」	11月28日	文化会館たづくり	22	老後に苦労しないために、今日から生前整理を始めるための整理術を学ぶ。	整理収納アドバイザー 小宮 真理
消費者講座「エコ掃除～年末の大掃除に向けて～」	12月2日	文化会館たづくり	24	年末の大掃除に向けて、重曹などの天然素材を使って、家庭で手軽に実践できる掃除術を学ぶ。	ナチュラルライフ研究家 佐光 紀子
消費者講座「100歳までお金に苦労しないマネープラン」	1月24日	文化会館たづくり	23	年金の受け取り方など、今日からできるお金の不安をなくすための生活設計方法を学ぶ。	ファイナンシャルプランナー 井戸 美枝
※消費者講座「食の安全は手作りから」	2月26日	文化会館たづくり	—	消費者活動団体と協働での講座開催することで、市民へ広く消費者教育の推進を図る。	調布市消費者団体連合会
※バス見学会	3月11日	電力中央研究所 赤城試験センター・群馬県立近代美術館	—	消費者活動団体と協働での講座開催することで、市民へ広く消費者教育の推進を図る。	調布市消費者団体連合会

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

ウ 出前講座（開催18回，中止1回，1,089人）

講座内容	団体名	開催日	場所	参加者数 (人)
調布市新任職員研修	人事課	4月4日	こころの健康支援センター	49
電気通信大学新入生合同研修	電気通信大学	4月6日	電気通信大学講堂	700
学んで対策！賢い消費者になるために	地域包括支援センターちょうふ花園	4月22日	ちょうふ花園 1Fフロア	9
学んで対策！賢い消費者になるために	こころの健康支援センター（ラベンダー）	5月14日	こころの健康支援センター別館作業訓練室	8
学んで対策！賢い消費者になるために	こころの健康支援センター（ラベンダー）	5月23日	こころの健康支援センター	8
学んで対策！賢い消費者になるために	調布市社会福祉事業団ちょうふだぞう	5月25日	ちょうふだぞう活動室（国領ちょうふだぞう内）	8
学んで対策！賢い消費者になるために	サロン・ハイム	6月9日	つつじヶ丘ハイム集会室	23
消費生活センターの紹介と悪質商法撃退の替歌	富士見ふれあいのつどい実行委員会	6月15日	富士見地域福祉センター	85
タブレット講座「さわってみようiPad」	協働推進課	6月19日	文化会館たづくり	8
学んで対策！賢い消費者になるために	こころの健康支援センター（ジャスミン）	7月18日	こころの健康支援センター別館作業訓練室	8
調布市における消費者トラブルについて	地域包括支援センターちょうふ花園	8月1日	文化会館たづくり	38
学んで対策！賢い消費者になるために	地域包括支援センターちょうふの里	9月24日	地域包括支援センターちょうふの里	27
西部ふれあいのつどい「人形劇と替歌」消費生活センターの紹介	西部ふれあいのつどい実行委員会・社会福祉協議会	10月27日	西部地域福祉センター	50
学んで対策！賢い消費者になるために	地域包括支援センターちょうふの里	11月20日	コープ調布B棟集会室	23
学んで対策！賢い消費者になるために	こころの健康支援センター（タイム）	12月4日	こころの健康支援センター別館1階	14
タブレット講座「さわってみようiPad」	協働推進課	12月4日	文化会館たづくり	1
学んで対策！賢い消費者になるために	多摩川住宅 たち会	1月23日	多摩川住宅 ハ棟集会室A	14
学んで対策！賢い消費者になるために	こころの健康支援センター（ライズ）	2月22日	こころの健康支援センター別館1階	16
※はじめてのスマートフォン講座	文化生涯学習課	3月12日	文化会館たづくり	—

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(3) 消費者啓発用パンフレット等の作成

消費生活に関する正しい知識の啓発と消費者被害を未然に防止するため、パンフレットや教材等を作成・配布し、啓発に努めるもの

ア 「くらしの豆知識（2020年版）」 1,900部

イ 「生活ひとくちメモ2020」 3,000部

(4) 調布市消費啓発用キャラクター「チー坊」

平成30年3月30日付で消費者庁長官から消費者教育推進大使の委嘱を受け、環境フェアやフードドライブ等3事業に参加した。

※ 「チー坊」製作には、東京都消費者行政推進交付金を活用した。

(5) 食品ロス削減の取組

調布市消費者団体連合会及び調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会と連携し、フードドライブを実施した。

フードドライブ（開催4回）

実施月日		6月1日	8月7日	12月8日	2月6日
会場		環境フェア 会場内 (市役所前庭)	総合福祉 センター	エコフェスタち ようふ会場内 (調布市文化会館 たづくり12階大 会議場)	総合福祉 センター
品目	缶詰	190	102	131	216
	インスタント 食品	141	94	60	74
	レトルト食品	546	143	173	170
	調味料	151	127	86	90
	嗜好品	526	458	132	182
	乾物	69	158	174	293
	おかし	203	69	151	284
	その他	0	8	7	0
合計		1,826	1,159	914	1,309

4 生涯学習推進事業 予算科目（款・項・目）10・35・19〔決算書141ページ〕

市民の自主的な学習活動を支援することを通して、参加と協働のまちづくりを推進し、市民の生涯学習活動への参加促進及び団体活動の活性化を図るもの

(1) 生涯学習情報コーナー運営事務

専門職である調布市生涯学習まちづくり推進員が、市内で活動する各種サークル・団体情報及び講師情報を窓口、電話及びホームページで市民に提供するもの

ア 相談受付時間 午前9時から12時まで、午後1時から5時まで

イ 登録数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
サークル・団体数（団体）	756	748	736
講師数（人）	141	117	117

ウ 相談件数

(ア) 総件数 (単位：件)

平成29年度	平成30年度	令和元年度
1,427	1,117	1,000

(イ) 相談方法内訳 (単位：件)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
来 訪	763	534	411
電 話	532	468	510
インターネット	43	71	69
その他	89	44	10

(ウ) 男女別内訳 (単位：件)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
男	447	343	348
女	980	774	652

エ サークルガイドブックの発行 2, 500部

オ 生涯学習サークルボランティアメニューの発行（生涯学習地域サポート事業）500部

カ 生涯学習サークル体験事業の記録の発行 200部

キ 出張相談の開催

(ア) イトーヨーカドー国領店 令和元年6月25日（株式会社セブン-イレブン・ジャパン及び株式会社イトーヨーカ堂との地域活性化包括連携協定に基づく事業）

※ 生涯学習サークルの参加協力のもと、体験コーナーを設置（参加サークル：キルトそめち）

(イ) 文化会館たづくりエントランスホール 令和元年10月20日

(ウ) 東部公民館 令和元年10月29日

(エ) 北部公民館 令和元年10月29日

(オ) 西部公民館 令和元年11月2日

(2) コミュニティFMによる情報提供

生涯学習や市民活動に関する情報を周知することで、市民の生涯学習や市民活動への参加を促進させることを目的として、調布エフエム放送で番組を放送した。

ア 番組名 「生涯学習・市民活動のススメ」

イ 放 送 毎週日曜日 午前11時50分から10分間

ウ 放送内容 みんなの広場展示紹介・サークル紹介・生涯学習情報、市民活動支援センター情報

エ 放送回数 52回（年間）

(3) 生涯学習情報コーナーウェブサイトによる情報提供

地域情報発信の中心的な役割を担う「ちようふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）」との連携を図りながら、生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」で生涯学習に関する情報提供を行った。

アクセス数 (単位：件)

区 分	トップページ	イベントページ	人材ページ	施設ページ	合計
平成 29 年度	22,860	34,003	3,699	22,452	83,014
平成 30 年度	19,035	22,061	3,716	21,987	66,799
令和元年度	16,701	19,881	3,189	20,524	60,295

(4) 地域デビュー事業の実施

シニア層及び地域活動への参加を希望する市民を対象に、地域活動参加のきっかけづくりを支援し、市民のまちづくり活動を推進させることを目的に、生涯学習まちづくり推進員及び地域デビュー推進委員会と連携して各種事業を実施した。

ア 地域デビュー歓迎会

(ア) 開催年月日 令和元年6月9日

(イ) 開催場所 文化会館たづくり 大会議場

(ウ) 内容

テーマ「見つけよう 広げよう 新しい仲間～楽しもう調布 踏み出そう第一歩～」

第1部 地域デビューを考える

①特別講演「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ～小惑星への再挑戦～

講師 吉川真（JAXA宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系准教授）

②活動報告・体験談・パネルトーク

第2部 リラックスタイム・ふれあいトーク

(エ) 参加者 71人

イ その他の地域デビュー事業

講座数 4講座, 全6回

延べ参加者数 165人

講座名	実施月日	会場	参加者数 (人)
男の料理教室 昭和レトロな料理 (全2回)	9月3, 17日	文化会館たづくり	24
調布再発見 バス&徒歩ツアー 空と宙の玄関口, スポーツのメ ッカ, そして緑と水の町 (全2 回)	9月20, 30日	(事前学習会) 文化会館たづくり (ツアー) 市内外 各地	55
地域ボランティアデビューしま せんか?	11月29日	文化会館たづくり	20
サークルデビューしませんか?	1月13日	文化会館たづくり	66
※フォローアップの会	3月30日	文化会館たづくり	—

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(5) 生涯学習サークル体験事業の実施

市民が生涯学習の楽しさを知り、地域との関わりを持つ機会を提供することを目的として、新たにサークル活動を始める方への支援や団体活動の更なる活性化に向けて、生涯学習まちづくり推進員及び地域デビュー推進委員会と連携して各種取組を行った。

ア 生涯学習サークル体験事業の実施

体験者を受け入れるサークルの活動について市報で参加者を募集した。

(ア) 参加団体 30サークル

(イ) 参加者 48人 (申込み55人。うち、新規入会者16人)

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い、6サークルの活動に中止・一部中止あり

イ 「サークル体験 in みんなの広場」の実施

複数のサークルが一堂に会し、新たに活動を始めたい方に向けた体験会を開催した。

延べ参加者数 42人

開催回数	実施月日	参加サークル	参加者数 (人)
第1回	6月3日	水きりえ同好会, 大人の塗り絵, 調布囲碁連盟	8
第2回	8月5日	南部菱刺しの会, 大江戸を楽しむ友の会 (大江戸 楽友会), キルトそめち	17
第3回	10月7日	大人の塗り絵, 調布碁楽会	8
第4回	12月2日	水きりえ同好会, 調布パソコンサークル (CP C), 調布市グラウンド・ゴルフ協会, 調布アカ デミー倶楽部	9

ウ 生涯学習サークル合同発表会

市のサークル体験事業に参加した市民が、そこで学んだ成果を発表することを通して、地域活動に参加するきっかけとするとともに、サークル間の交流を促進することを目的に、生涯学習サークル合同発表会を実施した。

(ア) 生涯学習サークル合同発表会 舞台発表

開催日 令和2年2月1日

開催場所 グリーンホール 小ホール

参加団体 13サークル

参加者 326人

(イ) 生涯学習サークル合同発表会 展示発表

開催期間 令和2年2月7日から同月15日まで

開催場所 文化会館たづくり みんなの広場

参加団体 4サークル（塗り絵・版画・キルト・菱刺し）

(6) 生涯学習講演会・講座

市民が生涯学習を始めるきっかけとなることを目的に、講座を開催した。

テーマ	実施月日	講師	会場	参加者数 (人)
全力で楽しむ！ ラグビー観戦講座 (全2回)	6月3, 10 日	金子 巧 (調布市ラグビーフ ットボール協会)	文化会館たづくり	延べ53人
※はじめてのスマ ートフォン講座	3月12日	ソフトバンク調布店 スマホアドバイザー	文化会館たづくり	-

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(7) セカンドライフ応援講座

セカンドライフを迎えた方を応援するため、講座を通して活動を始めるきっかけとすることを目的として、全8回の連続講座を開催した。

延べ参加者数 167人

開催回	実施月日	テーマ	講師	参加者数 (人)
第1回	8月1日	オリエンテーション	地域デビュー推進委員会 委員長, 文化生涯学習課 職員	21
第2回	8月21日	(1) ラグビーワールドカ ップ2019に向けた調 布市の取組 (2) 深大寺・映画のまち など調布の魅力をご 紹介1	(1) オリンピック・パラ リンピック担当職員 (2) 産業振興課職員	25
第3回	9月11日	意外と知らない？調布の 歴史	郷土博物館職員	26
第4回	9月18日	(1) みんなで進める災害 対策 (2) 地区協議会とは	(1) 総合防災安全課職員 (2) 協働推進課職員	19
第5回	9月25日	深大寺・映画のまちなど 調布の魅力をご紹介2	調布市観光ボランティア ガイド	20
第6回	10月9日	ボランティア入門講座	市民活動支援センター職 員	23
第7回	10月30日	ファシリテーター養成講 座	NPO法人ちょうふこど もネット副理事長	20

(8) 生涯学習出前講座の実施

ア 総講座数

市役所編 1 0 6 講座（子ども向け講座 1 2 講座を含む。）

イ 講座別実施状況

区分	No.	講座名	実施メニュー 件数（件）
地方自治	14	選挙のはなしをしよう！	1
福祉	22	地域の助け合いによる災害時の避難行動要支援者支援について	1
	24	みんなで支える介護保険制度	2
	25	今から始める介護予防	3
	26	シニアをサポート！高齢者福祉について	2
	27	地域包括支援センターをご存知ですか	1
	29	障害理解について～障害者差別解消法～	1
	30	障害者総合支援法とは？	1
健康	32	地域回想法 昔の道具で思い出がたり	1
	34	食を通じたところとからだの健康づくり	3
	35	みんなで実践 健康づくり	1
子育て	45	学童クラブとは	1
	0	調布市における子育て支援等に関する現状と対策	1
まちづくり	52	調布市の“参加と協働”について	1
	57	住民発意の街づくり	1
	59	中心市街地まちづくりについて	1
消費・生活 ・暮らし	65	みんなで進める災害対策【震災編】	7
	66	みんなで進める災害対策【風水害編】	3
	68	だまされないで！振り込め詐欺について	8
	69	学んで対策！賢い消費者になるために	11
	0	調布市における消費者トラブルについて	1
	0	特殊詐欺の手口と調布市における実例及びその対策	1
	0	水害対策について	1
環境・ごみ	80	ごみの減量とリサイクルを考えよう	2
教育	90	読書の楽しさを伝えたい！子どもと読書	3
調布を知る	92	深大寺・映画のまちなど調布の魅力をご紹介	2
子ども向け 講座	7	多摩川や調布の自然を学ぼう！	3
	8	ごみのはなし	2
	10	調布の街づくり	1
合計			67

※ No. 欄の 0 は、メニューには無いが、申請団体の希望により実施した講座

※ 新型コロナウイルスの影響により、上記の他 9 件の実施取り止めあり

(9) 市民が主役のまちづくり大学事業

大学・地域・行政の連携に関する市民の認識を深め、これからの魅力あるまちづくりにおける市民の積極的な参加の促進などを図るもの

ア 相互友好協力協定締結大学定例会の実施

文化、教育、学術、スポーツ等の分野で援助、協力し相互発展を図ることを目的として、相互友好協力協定を締結している地域の7つの大学等と、市との連携事業や各大学等の市民向けの取組等に関して定期的に意見交換する場を設けた。

	実施月日・会場	内容
第1回	6月21日 文化会館たづくり	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度連携事業について 協定大学ゼミ展企画について 調布市大学プラットフォーム会議について
第2回	9月27日 調布市役所	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度連携事業の進捗について 協定大学ゼミ展の進捗状況について 令和2年度セカンドライフ応援講座について 調布市大学プラットフォーム会議について
第3回	12月6日 文化会館たづくり	<ul style="list-style-type: none"> 協定大学ゼミ展の広報等について 令和2年度セカンドライフ応援講座について
第4回	2月21日 文化会館たづくり	<ul style="list-style-type: none"> 協定大学ゼミ展の実施報告 令和2年度連携事業について 調布市大学プラットフォーム会議について 各大学の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等についての情報共有

イ 「調布市協定大学ゼミ展」の実施

相互友好協力協定大学の研究成果や学びを市民に発表することで、市民へ新たな学びの機会を提供するとともに、各大学と地域とのつながりを強めることを目的として、協定大学学生による展示、ワークショップ及び発表を行った。

実施年月日 令和2年2月15日

会場 文化会館たづくり むらさきホール

参加者数 289人

ウ 各大学等との連携

(ア) 中学生のための大学一日体験入学の実施

東京慈恵会医科大学との共催により、中学生とその保護者を対象に進路を考えるきっかけづくりを兼ねて実施した。

実施年月日 令和元年11月2日

参加者数 25人

内容 模擬講義や演習のほか、看護学科学生によるキャンパスツアー

(イ) サイエンスカフェChofuの開催

電気通信大学との共催により、高校生以上を対象に平成29年度から実施しているサイエンスカフェを全5回開催した。令和元年度は、他の協定締結大学からも協力を得て実施することができた。

延べ参加者数 115人

開催回数	実施月日	テーマ	講師	参加者数(人)
第10回	5月25日	スポーツと流体力学ーアーチェリー矢の飛翔ー	宮寄 武教授(電気通信大学機械知能システム学専攻)	15
第11回	7月12日	空の産業革命? 移動革命? ドローンが飛び交う世界の展望	原田 賢哉氏(宇宙航空研究開発機構航空技術部門次世代航空イノベーションハブ マネージャ・無人航空機技術チーム長)	23

第 12 回	9 月 14 日	血管と血圧の物理学と身近な放射線	植田 毅教授（東京慈恵会医科大学医学部物理学研究室）	26
第 13 回	11 月 9 日	哲学カフェ：人工知能と暮らす世界を共に考える	松浦 和也准教授（東洋大学文学部哲学科），西野 順二助教（電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・ネットワーク工学専攻）	29
第 14 回	1 月 18 日	筋肉細胞のサイエンス～筋肉細胞に興味を持てると、きっと運動が楽しくなる！？～	狩野 豊教授（電気通信大学大学院情報理工学研究科共通教育部）	22
※第 15 回	3 月 14 日	乳酸菌とヒトとの永く深いつながり	佐々木 泰子准教授（明治大学農学部農芸化学科）	-

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

エ 市報ちょうふ「相互友好協力協定締結大学の市民対象の事業紹介」掲載

毎月 5 日号の市報ちょうふに大学が実施する市民対象事業の紹介記事を掲載し、大学に市報の郵送（一部持参）を行った。

また、同内容を市ホームページ及び生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」にも掲載した。

オ 大学等との連携事業に係る調査の実施

大学等と連携協力して行った事業等を把握するため、庁内調査を実施した。

大学等別連携実績

（単位：件）

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
電 気 通 信 大 学	46	41	34
明 治 大 学	20	24	21
桐 朋 学 園 大 学	16	25	22
桐朋学園芸術短期大学	12	14	9
白百合女子大学	22	31	26
東京外国語大学	16	17	11
東京慈恵会医科大学	12	16	14
ルーテル学院大学	11	12	13
合 計	155	180	150

※ 明治大学・桐朋学園大学は、附属小・中・高等学校との連携実績を含む。

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い、一部事業を中止としている。

(10) みんなの広場運営事務

市民、生涯学習・市民活動団体が、自由に生涯学習活動を行う場を提供するため、みんなの広場（打合せや展示スペース）の貸出しをするもの

ア 運営概要

利用時間 午前 9 時から午後 9 時 30 分まで

用途 打合せ・作業，作品展示

対象 生涯学習・市民活動団体，市民グループ，個人学習

イ 利用状況

(7) 打合せ・作業等 ※ 表中数字は、上段：利用団体数，下段：利用人数

活動分野 月	社会福祉	教育・文化・スポーツ	国際交流	まちづくり	環境保全	保健医療	行政	その他	合計	個人学習
4月	20 110	234 1,059	24 63	29 136	7 26	1 2	8 28	25 68	348 1,492	57
5月	22 90	233 1,086	19 65	22 140	5 27	5 9	15 52	16 45	337 1,514	101
6月	21 102	212 956	26 78	24 137	10 68	6 33	4 18	34 96	337 1,488	90
7月	27 126	210 955	29 94	20 90	3 22	8 21	7 31	22 51	326 1,390	53
8月	19 76	184 780	36 159	23 105	3 15	2 4	7 22	18 36	292 1,197	91
9月	17 77	233 1,046	33 127	13 67	7 36	1 2	8 36	21 55	333 1,446	67
10月	23 87	229 1,041	32 117	15 80	3 15	0 0	9 22	16 49	327 1,411	59
11月	28 126	213 1,023	31 113	17 69	7 30	0 0	4 6	24 89	324 1,456	31
12月	20 84	210 936	26 96	12 65	5 16	0 0	1 5	15 42	289 1,244	62
1月	22 114	195 893	26 95	4 22	1 5	2 4	10 52	22 65	282 1,250	62
2月	21 87	207 955	34 122	5 27	1 6	0 0	14 51	20 69	302 1,317	55
※3月	0 0	10 33	1 1	2 9	0 0	0 0	1 2	3 12	17 57	0
合計	240 1,079	2,370 10,763	317 1,130	186 947	52 266	25 75	88 325	236 677	3,514 15,262	728

(イ) 作品展示

月	区分	利用団体数（団体）	利用延べ日数（日）	施設稼働日数（日）
4月		3	21	28
5月		2	14	29
6月		4	22	28
7月		0	0	29
8月		2	8	29
9月		3	17	26
10月		4	21	29
11月		4	22	28
12月		4	24	26
1月		1	7	26
2月		2	16	25
※3月		0	0	2
合計		29	172	305

※ 利用延べ日数には、準備のために利用した日を含む。利用団体数及び利用延べ日数は、展示の初日が属する月で集計した。

※ 新型コロナウイルスの影響により、3月3日から施設を利用停止とした。

5 調布市グリーンホール 予算科目（款・項・目）10・35・30〔決算書145ページ〕

グリーンホールは、大小2つのホールを擁し、芸術文化企画の提供と市民文化活動の拠点として使用されているもの

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

なお、新型コロナウイルス感染症に関する対応として、市の対応方針に基づき、イベントの縮小・延期・中止を実施したほか、施設利用のキャンセルについては、施設利用料金の全額還付を行った。

また、令和2年3月28日から、感染拡大防止のため、施設の窓口業務を除き利用を停止した。

(1) 施設使用状況

2施設、稼働日306日、1施設当たり使用可能単位306×3=918単位

年 度		大ホール	小ホール	合 計
使用件数 (件)	29	698	732	1,430
	30	783	812	1,595
	元	763	757	1,520
稼働率 (%)	29	81	85	(平均値) 83
	30	85	88	(平均値) 86
	元	83	82	(平均値) 83
来場者数 (人)	29	141,173	38,757	179,930
	30	121,210	40,087	161,297
	元	141,190	33,922	175,112

(2) 施設整備に関する取組

グリーンホール整備に向けた参考事例とするため、神奈川芸術劇場を視察したほか、2人の有識者との意見交換を計2回行った。

また、施設利用団体を取組状況を説明するとともに、意見交換を行った。

(3) 施設工事・改修状況

非構造部材改修工事修正設計業務委託

6 調布市文化会館たづくり

予算科目（款・項・目）10・35・35

〔決算書145ページ〕

文化会館たづくりは、芸術文化、コミュニティ活動及び生涯学習の拠点施設として種々の事業を実施しており、市民はもとより大勢の人々に使用されているもの

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

なお、新型コロナウイルス感染症に関する対応として、市の対応方針に基づき、イベントの縮小・延期・中止を実施したほか、施設利用のキャンセルについては、施設利用料金の全額還付を行った。

また、令和2年3月28日から、感染拡大防止のため、施設の窓口業務を除き利用を停止した（西館を除く）。

(1) 入館者等の状況

月	区分	入館者数(人)		使用台数(台)	
			(うち図書館)	駐車場	駐輪場
4		145,217	47,917	5,251	9,580
5		150,905	49,349	4,867	11,112
6		155,429	50,733	5,221	10,303
7		160,231	54,646	5,836	11,037
8		153,962	59,406	5,382	12,097
9		161,626	47,119	4,774	10,686
10		180,458	47,853	4,952	10,846
11		180,173	47,375	5,828	11,599
12		166,479	43,220	4,923	10,062
1		127,578	46,878	5,408	9,945
2		139,240	46,090	5,056	9,648
3		117,779	15,821	5,138	3,953
合計	29年度	1,868,327	620,460	60,658	131,257
	30年度	1,875,956	612,286	63,938	128,757
	元年度	1,839,077	556,407	62,636	120,868
月平均	29年度	155,694	51,705	5,055	10,938
	30年度	156,330	51,024	5,328	10,730
	元年度	153,256	46,367	5,220	10,072

(2) 施設使用状況

ア ホール系

6施設、稼働日328日、1施設当たり使用可能単位328×3＝984単位

区分 年度		くすのき ホール	むらさき ホール	大会議場	映像シア ター	ギャラリー		合計
						南	北	
使用 件数 (件)	29	880	956	714	590	882	867	4,889
	30	857	957	731	635	828	912	4,920
	元	851	938	728	610	864	891	4,882
稼働 率 (%)	29	89	96	72	59	89	87	(平均値) 82
	30	86	96	74	64	78	86	(平均値) 81
	元	86	95	74	62	88	91	(平均値) 83

※ みんなの広場の利用状況は、「4(10) みんなの広場運営事務」において掲載している。

イ 諸室系

34施設、稼働日328日、1施設当たり使用可能単位328×3＝984単位

区分 年度		リハーサル 室	音楽練習 室(4室)	研修室	和室 (3室)	学習室 (小2室)	学習室 (大2室)
	30	958	3,612	759	2,167	1,429	1,535
	元	945	3,554	759	2,136	1,449	1,493

稼働率 (%)	29	96	88	77	72	75	76
	30	96	88	76	73	72	77
	元	96	90	77	72	74	76

区分 年度		調理実習室	談話室	会議室 (小9室)	会議室 (大2室)	茶室	創作室 (2室)
使用 件数 (件)	29	455	376	7,443	1,471	379	1,237
	30	505	407	7,463	1,520	373	1,254
	元	459	388	7,260	1,445	353	1,239
稼働 率 (%)	29	46	38	83	74	38	62
	30	51	41	84	77	38	63
	元	47	39	82	73	36	63

区分 年度		暗室	スタジオ	保育室 (3室)	合計
使用 件数 (件)	29	133	472	1,213	23,573
	30	176	480	1,139	23,777
	元	203	493	1,234	23,410
稼働 率 (%)	29	13	48	41	(平均 値) 62
	30	18	48	38	(平均 値) 63
	元	21	50	42	(平均 値) 63

※ 編集室は、ビデオ等の編集に使用する場所で、部屋のみの貸出しは行っていないため、施設使用状況には含めていない。

ウ 個人学習室

(単位：人)

区分 月		一般学習室	社会人学習室	合計
合計	29年度	96,936	32,717	129,653
	30年度	103,202	30,535	133,737
	元年度	97,045	28,371	125,416

エ 図書館

(単位：人)

区分 月		4階	5階	ハンディ キャップ サービス	視聴覚 資料室	合計
合計	29年度	402,331	181,405	3,799	32,925	620,460
	30年度	397,667	179,152	3,749	31,718	612,286
	元年度	368,443	158,289	3,272	26,403	556,407
月平均	29年度	33,528	15,117	317	2,744	51,705
	30年度	33,139	14,929	312	2,643	51,024
	元年度	30,704	13,191	273	2,200	46,367

※ 資料提供：図書館

(3) 施設工事・改修状況

- ア 地下2階消火設備CO2ボンベ交換委託
- イ くすのきホールほか3箇所非構造部材改修工事修正設計委託
- ウ 受変電設備補助継電器改修工事
- エ 受変電設備操作用鉛蓄電池交換工事

7 文化・コミュニティ振興財団補助(事業)

予算科目(款・項・目) 10・35・35

[決算書145ページ]

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団に対し、財団が行う自主事業等に対する補助金を交付するもの

(1) 共催事業

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業内容
調布国際音楽祭 2019	6月23日 ～ 6月30日	文化会館たづくり, グリーンホール, 深大寺ほか	延べ9,660	世界で活躍するアーティストによるコンサートの他、キッズコンサートや桐朋学園大学の学生による公演、深大寺本堂でのコンサートなどを開催
調布よさこい 2019	8月25日	旧甲州街道(調布駅北口～布田駅前), 調布駅前広場, 蓮慶寺, グリーンホール	延べ約43,000	よさこい踊りを通じて、踊り手、来場者及び地元商店会等の地域住民の交流を図ることを目的に開催
※映画のまち調布シネマフェスティバル2020	2月14日 ～3月8日	文化会館たづくり, グリーンホール, イオンシネマシアタス調布	延べ20,205	市内の映画・映像関連企業、団体と連携し、作り手側にスポットを当てた映画祭として開催。市民投票と選考委員で選定する「第2回映画のまち調布賞」の授賞式や投票上位作品の上映、トークイベント等を実施 市民投票総数12,582票

※ 一部イベントについて、新型コロナウイルスの影響に伴い中止

8 せんがわ劇場

予算科目(款・項・目) 10・35・40 [決算書147ページ]

市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点とするとともに、身近に芸術文化に触れる機会を提供することによって芸術文化の振興を図るため、指定事業(地域の芸術文化ネットワーク創造事業、舞台芸術を楽しむ市民の裾野拡大事業、次世代を担う子どもたち育成事業、次世代を担う舞台芸術活動者育成事業)及び施設の使用に関する事業を行うもの

令和元年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営している。

なお、新型コロナウイルス感染症に関する対応として、市の対応方針に基づき、イベントの縮小・延期・中止を実施したほか、施設利用のキャンセルについては、施設利用料金の全額還付を行った。

また、令和2年3月28日から、感染拡大防止のため、施設の窓口業務を除き利用を停止し

た。

(1) 施設使用状況

2施設，稼働日ホール301日，リハーサル室327日，1施設当たり使用可能単位ホール903単位，リハーサル室981単位

年 度		ホール	リハーサル室	合 計
使用件数 (件)	29	935	898	1,833
	30	906	933	1,839
	元	809	879	1,688
稼働率 (%)	29	90	86	(平均値) 88
	30	89	90	(平均値) 89
	元	90	90	(平均値) 90
使用可能 単位 (単位)	29	1041	1041	
	30	1023	1040	
	元	903	981	

(2) 施設工事・改修状況

ホール上手客席出入口改修工事